

乙訓圏域障がい者自立支援協議会
令和5年度 第4回人材確保・育成部会 会議録

日時 令和6年1月15日(月) 10:00~11:20

場所 乙訓福祉施設事務組合大会議室

出席者 12名

向日市社協障がい者地域生活支援センター、こらぼねっと相談支援センター、向陵会、障がい福祉センターあらぐさ、障害者支援施設晨光苑、乙訓の里、長岡京市商工会、乙訓保健所福祉課、長岡京市障がい福祉課、大山崎町福祉課

欠席者 2名

向日市障がい者支援課(2名)

事務局 3名

傍聴者 0名

配布資料

- ・次第
- ・人材育成に携わる圏域職員の交流会 報告
- ・活動報告(案)
- ・「乙訓地域就職フェア」チラシ

会議概要

1 人材育成に携わる圏域職員の交流会について

部会長 ・資料「人材育成に携わる圏域職員の交流会 報告」を確認し、気になった点などについてご意見いただきたい。

委員 ・人材育成の取組方法は多種多様だと思った。交流会は少人数だったので、みなさん話しやすかったようだ。

委員 ・参加された方は、有意義な時間を過ごされたと感じた。
・設問3で、「全員発言での交流とグループの交流のまとめは発表される内容が違っているように見え、」とあるが、何がどう違ったのだろうか。

部会長 ・最後に、グループからまとめの報告をしてもらうことが当初の予定だったが、時間があつたので、参加者全員に感想を発言してもらうように変更した。グループでの話の総括がなかったのでそのことを言われていると思う。グループ内での話のまとめも必要だったとも思う。

- 委員 ・活気のある交流会だった。発表をされた若竹苑も大山崎町社協も大変わかりやすかった。みなさん、交流に期待し、喜んでおられた。他施設での取組を聞くことで気づきにつながった。ざっくばらんに話す場だけでも今後もあると、法人で担当者が変わる中でも参考になると感じた。
- 委員 ・交流が活発で、職場のことを共有しながら、悩み愚痴などの話ができ、よかった。支援対象や条件が違う中での話だったが、人材育成を考えておられるのがわかりあえた。立場や規模によって、方法もさまざまで、気づきがえられた。
- 委員 ・他の施設も見てみたいと思いつつも、日々の業務に追われ、できていないので、コミュニケーションを通して、新たな視点を得たいと思った。
- ・大山崎社協で、毎週火曜日に趣味などを発表する時間があり、その人となりを知っていこうという取組があると聞いて、おもしろいと思った。最近、自分のことを話したくない人もあり、世代間で難しいところもあると思った。
- ・普段のコミュニケーションを、しっかりとしなければいけないと感じた。
- 委員 ・具体的にどういうことに悩んでおられるのか、興味深く見せてもらった。
- 委員 ・交流会は盛り上がっていた。事業所同士で話す機会ができてよかった。次回もあればいいなと思った。
- 委員 ・規模などいろいろある中で、評価の仕方など参考になる点があった。積極的なかわりの場になりよかった。
- 部会長 ・今回2回目となる。部会員は他事業所の方と話す機会がよくあるのだが、参加者の方は思っているより孤独で、事業所内にてひとりで考えなくてはならず大変なようだった。交流の部分がよかったという感想が多かった。交流の場は継続できると思う。
- 事務局 ・グループ内で活発な意見交流をされていた。悩みを共有できたという感想もあり、やってよかったと思う。

2 今年度の取組の確認と移管先について

- 部会長 ・今年度の取組の確認は、資料「活動報告（案）」の4を参照しながら進めたい。
- ・チラシの更新、見学体験計画の更新、窓口業務 → 基幹相談支援センター
- 部会長 ・反響があまりないが、チラシは大変いいものができた。チラシの更新等については、基幹相談支援センターから、それぞれの事業所に案内があると思うので、対応していただきたい。
- ・新任職員連続講座について → 基幹相談支援センター
- 部会長 ・長年取り組んできているので、ある程度形もできて、令和5年度から部会の手を離れ、基幹相談支援センターの事業としている。
- ・京都保育福祉専門学院での就職フェア及び西山短期大学での就職ガイダンスについて → 基幹相談支援センター
- 部会長 ・チラシと一体として基幹相談支援センターで引き継ぐことになる。次年度はどのように考えているか。

事務局 ・ 2校に加えて、大阪保育福祉専門学校でも実施できればと思っている。
部会長 ・ 各学校とやりとりをして、事業所へ声かけをしていただくことになる。

・就職フェアについて → 進捗状況の確認をする

部会長 ・ 今年度の事業がまだ終了していない。

委員 ・ 資料「乙訓地域就職フェア」チラシを見ながら説明。

・ おおむね 12 時半から事業所に来ていただいて準備をする予定。

・ 部会のブースは、バンビオ 3 階の会場外の通路受付のところに長机 2 台で設ける。求人を出される企業は会場内で今回 16、7 企業が参加。

・ 企業の PR コーナーを設けることを考えている。2 時ごろから随時会場内で、ブースでの相談を受けながら、1 分から 2 分ぐらいで順番に紹介いただく予定。プロジェクターなども準備しようと思っている。

・ 昨年度は会場がイオンだったので、入館方法など難しかったが、今回はバンビオなので制約はなく準備していただける。

部会長 ・ 今年度も紹介コーナーを作っていただきご協力ありがとうございます。当日は私と事務局で参加する予定だが、みなさんもお時間があればのぞいていただきたい。

・ 配付資料は部会で作成したチラシを持参し、昨年度は、各事業所のパンフレット等もおいていた。求人票はブースではないので控えた方がいいだろうか。

委員 ・ 原則は、各団体が求人の登録を必要とするので、ハローワークに何か言われるかもしれない。

部会長 ・ 求人票があっても当日私達では説明できないので、チラシを見て各事業所に問い合わせてもらいたい。

・ 関心をもってもらえるように声かけをしたい。

・ PR コーナーは自立支援協議会も参加させていただけるようなので、簡単にチラシの配布をしていますというような話ができるようにしたい。

部会長 ・ 就職フェアも窓口は基幹相談支援センターに引き継ぎたい。

・人材育成に携わる職員の交流会について → 乙訓障害者事業所連絡協議会(以下、「乙障協」という)

副部会長 ・ 乙障協の役員会で説明をさせていただいたが、事業展開からして手がいっぱいだという話だった。事業計画にのせるのはプラスアルファになるので現状としては難しいとの回答をいただいた。

委員 ・ 参加者が採用担当者等に制限されてしまうので、いろんな一般職員や新人職員を含めた交流をつなげたいというところで開催は難しいという話がでていた。

部会長 ・ 難しいということなので、もともとこの交流会はどこかに引き継ぐというよりは何回かやってみてそれぞれで横のつながりを作ってもらって、そこで意見交換を重ねていくのが良いと思っていた。乙障協にやっていただけるときっかけとしてはいいと思ったが、もう少し考えることにする。

3 活動報告（案）について

- 部会長 ・本日の議題2で、活動報告（案）の4は確認ができた。
・取組の中に、商工会の就職フェアが入っていなかったので加えたい。
- 副部会長 ・資料「活動報告（案）」を読み上げながら説明。
・5番の次年度については、本日の話合いを受けてまとめ、記載したい。
- 部会長 ・京都保育福祉専門学院で行ったのが、就職フェアなのかガイダンスなのか、統一されていないように思った。
- 事務局 ・京都保育福祉専門学院は、就職フェアに参加したことになる。
- 委員 ・就職フェアとガイダンスの違いがこの報告書ではわからないので、補足説明を入れた方がいいと思う。
・商工会の就職フェアに参加したことは、どの部分に入るのか。
- 副部会長 ・4の（1）に入る。
- 委員 ・3の第1回の6）に就職フェアとあるので、これが京都保育福祉専門学院の就職フェアなのか、商工会の就職フェアなのか、それぞれが別であるのがわかるように記載した方がいいと思う。
- 事務局 ・商工会の就職フェアはハローワークとの共催だろうか。
- 委員 ・共催です。
- 事務局 ・添付資料に、要項とまとめを、つけていただろうか。まとめだけでいいと思う。
・4 今年度の活動のあとの「これまでの…」の4行は同じことをいっているのでいらないと思う。
- 委員 ・運営委員会で、具体的な成果を記載した方がいいのではという意見があったと思う。チラシの配布によりどれぐらいの反応があったのか、連続講座での様子などコメントとして書けるのではないかと思う。
- 副部会長 ・部会立ち上げの準備会の活動報告時には、具体的な数値等をあげていた。その後、企画した事業に対して、数値的に参加人数をあげると、少なめなところが目立ったので、具体的なことをあげなくなったように思う。記載方法としてどうだろうか。
- 事務局 ・令和4年度の報告では、新任職員連続講座の参加人数は記載している。
・チラシについては、4年度は2名問い合わせがあったとなっているが、今年度は1件もない。ただ、どこに配架したかは記載してもいいと思う。
- 委員 ・数字上のことだけではなく、しっかり取り組んだので、成果をアピールした方がいいと思う。
- 部会長 ・4行を削除し、（1）（2）の部分をもう少し膨らませて成果を強調したい。
・この報告（案）にはないが、5番目として次年度に関する部分では、今後の事業の移管先を明記したい。部会としては終結となる。
・全体的な方向性は、みなさんにご意見をいただきました。報告の具体的な詰めは、事務局と部会長、副部会長に一任いただくということでいいだろうか。最終確認はメールでお願いすることとしたい。

4 その他

- 事務局 ・人材確保のチラシが商工会の就職フェア配布後に残ったら、3月に「医療的ケア」委員会で、長岡京福祉まつりに参加する予定なので、そこで配布してもいいだろうか。
- 部会長 ・みなさん了解のようなので、そのようにお願いします。
- 事務局 ・運営委員会で、この部会は終了すると確認している。来年度は、強度行動障害の部会が立つのではないかという話になっている。
- ・チラシを置いていただくために、圏域にある高校を訪問した。向陽高校では、先生と1時間ぐらい話をする機会をえた。人材確保だけではなく、障がいや人権、共生社会について学ぶ場として、就職ガイダンスのような機会を提供できると伝えた。もし、高校からそういった相談があれば各事業所に協力いただきたい。
- 部会長 ・チラシの配架から、このような発展があるのは、ありがたい。もしそのような機会がいただけるなら協力したい。
- ・商工会の就職フェアの報告は別の形ですることとして、部会としては、本日の第4回で終了となる。準備会から4年間取り組んできた。結果としては、物足りない部分もあるが、いろいろなことが形となり、今後も継続できる目処がたってきたので、部会としての役割はここで終了だと思う。みなさん、ありがとうございました。
- ・部会は終了するが、横のつながりはできたので、また何かあれば相談をして、集まる必要があれば集まりたいと思う。